

市政を問う

# 一般質問

[今定例会では、13人の議員が一般質問を行いました。]

質問議員	質問事項	質問議員	質問事項
① 爲近初男	1、観光関連の振興について 2、防災について	⑧ 山崎真幹	1、香美市定住対策構想(案)をめぐって 2、香美市は宝の山
② 千頭洋一	1、児童生徒の通学援助の見直しを 2、光ファイバー網整備の進捗は 3、火災警報器の設置状況は 4、香美市の「幸せ度」とその対策は	⑨ 石川彰宏	1、廃屋の撤去について 2、林業の振興計画
③ 有元和哉	1、固定資産税率見直しは可能か 2、公民館活動の中にNPO組織等の育成を図る中間支援組織の設立はできないか 3、観光協会に対し、香美市の商工観光班を指定管理することはできないか	⑩ 山崎龍太郎	1、租税債権管理機構について 2、市有財産について
④ 山崎晃子	1、「福祉教育・ボランティア学習」に関して 2、「介護・福祉」に関して	⑪ 濱田百合子	1、健康増進計画について 2、生涯学習活動について 3、地域医療の視点について 4、学童クラブ施設の耐震化について
⑤ 片岡守春	1、稀少植物の保存について 2、新庁舎駐車場に関して	⑫ 織田秀幸	1、学校・教育活動の取り組みについて 2、高齢化社会の対応について 3、受付業務について
⑥ 比与森光俊	1、体育施設整備 2、教育関係について 3、防災対策の充実を 4、空き家・空き地等の適性管理を	⑬ 大岸真弓	1、野田政権の動きとTPP問題について 2、再生可能エネルギー等導入推進基金事業(グリーンニューディール基金)の活用を 3、教育予算の増額を 4、「香北・物部支所庁舎の震災対策」と支所機能充実について 5、国保税の申請減免について
⑦ 利根健二	1、市民への情報提供 2、防犯灯		

次回は、2月29日開会の予定です。

## 一般質問は、3月6・7・8日です。

問い合わせ 香美市議会事務局 0887-53-1093



# 観光関連の振興



爲近初男議員

答 中井 産業振興課長

**問** この度、物部町特産の柚子の皮を利用した「しおゆずマーマレード」が県の優秀賞に選ばれた。今後の飛躍が期待される。加工品事業は初期投資や販売促進等、多額の経費が必要である。順調に伸びていくよう継続した厚い支援が重要である。その対応策を問う。

**答** 製造者から、昨年暮れに援助の要請があったが、急な事で県の事業採択にはならなかった。



旨い!しおゆずマーマレード

本年度は市と商工会の制度を利用して、事務所備品等を整備し、来年度は県の事業採択を目指している。

今後も、販売促進も含めて支援する。

**問** 香北町川ノ内川には岩登りに適した大岩群があり県下一のポルダリングの環境を備えている。使われていない二階建の建物に、ポルダリングジムを作り、川ノ内川周辺整備をし、

観光振興や活性化につなげてはどうか。

**答** 日ノ御子エリアは有名な場所のようだが、切り立った山と川の間、林道沿いのため、駐車スペースもない。観光資源として磨くより自然の状態を楽しんでもらいたい。

ジムに関しては初めて聞くので、どんなものかも含めて研究する。

**問** 本市には、安徳帝が崩御せられたという高板山や平清盛の孫、介盛らが隠れ住んだという平家の岩屋等の平家伝説が色濃く残っている。

大河ドラマに合わせてPRし、本市の山里の神秘的な歴史を訪ねてもらってはどうか。

**答** 平家落人伝説は、秘境にある神秘性が訪れた人々に感動を与えるもので、種々の体験ツアーとの組み合わせも面白いと思う。人工的な俗化は考えものだが、体験ツアーや現地ガイド等の育成が必要と考える。

## 防災対策

爲近初男議員

答 竹村 消防長

**問** 火災が発生した場合、水源確保の情報が必要により重要だ。物部方面隊においては、住宅周辺の水源調査を実施し、地図に落とし、署にも提供している。土佐山田町、香北町の



防火水そう (黒土集会所)

現状はどうか。

また、署員は、地域の熟知が重要だがその対応策を問う。

**答** 消防水利は、消防活動の基本であることから、消火栓・防火水槽またプールや溜池などの他、水路や小河川など自然水利についても調査し、使用の可否や関係者の協力の有無など水利に関する情報は常に署員に周知している。また、署員においては、定期的に消火栓や防火水槽等消防水利の点検を行うことにより、消防水利に対する認識を深めている。

そして、人事異動後は、休日に巡回するなど、早期に消防水利を認識するよう努めている。

**問** 消防救急無線のデジタル化への計画や事業額を問う。

**答** 消防救急無線のデジタル化は、平成28年5月末までに完了しなければならぬ。予定としては、平成24年度に基本設計、平成25年度に実施設計、平成26・27年度で施設整備を行う。

概算事業費は6億2千万円。財源は過疎債を予定している。



# 本市の「幸せ度」は



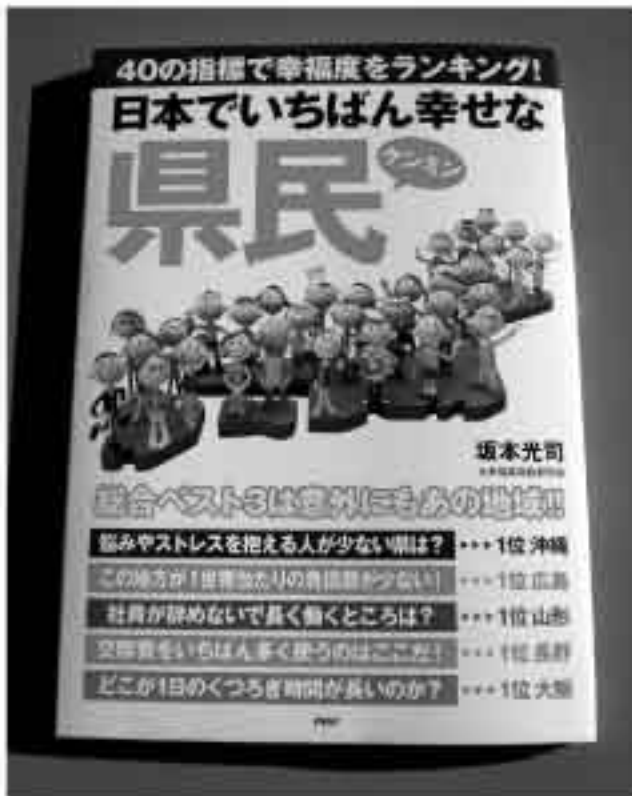
千頭洋一議員

答 門脇 市長

**問** 過日、国王夫妻が来日されたブータン王国の国内総生産（GDP）は、高いとは言えないが、国民総幸福度

（GNH）は国民の90%以上が「幸せ」と答えている。

世界屈指の経済大国になった日本は、急速な少子高齢化や年金・子育てへの不安、家族関係、地域社会の絆も失われつつある。高齢になるほど「幸せ」の実感がうすれ、70歳代では44%にとどまるなど、深刻な日本の状況が浮き彫りになった。法政大学の坂本教授が



市民の幸福度は

行った各県別の「幸せ度」の調査によると、高知県は46位であった。県内における本市の「幸せ度」の順位、対策を問う。

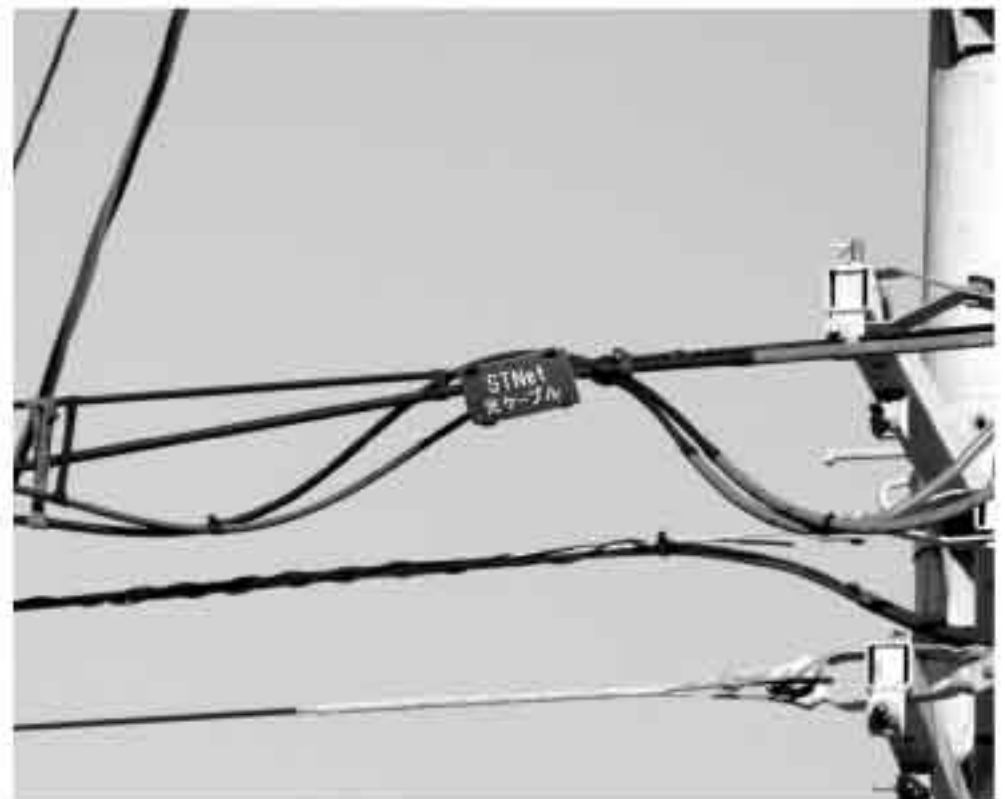
**答** お示しを頂いたような指標をもって統計の取りまとめはされていないので、本県の中で本市の順位が何位なのかは掴めていない。しかし、市行政の運営を担っている者として、せめて中ほどから上には位置して欲しいと思っています。

## 光ファイバー網の整備は

千頭洋一議員

答 今田まちづくり推進課長

**問** 情報格差解消の手段として、インターネット回線の高速化、双方向機能等を格段に向上させる光ファイバー



光ケーブル

網の導入が急務である。本市では、繁藤地区を除く土佐山田町内はすでに整備されており、高知工科大学のある本市としても、情報化の先端を行くべきではないかと考える。

**問** 本年6月議会の一般質問では繁藤と美良布地区までは導入すべく、具体的資料提供を待つから検討するとの答弁であった。その後の

導入検討の進捗状況を問う。  
**答** 光ファイバー網の整備については、引き続き事業者との話し合いを進めている。現在は、事業を進める上で課題となっている部分について、事業者からの回答を待ち、その結果により事業を進めるのか、他の方法を模索するのか、判断したいと考えている。

## 本議会を録画で見れます。

「香美市公式ホームページ」から「議会情報」をお選びいただき、「議会中継(外部リンク)」をクリックしてください。  
<http://www.discussvision.net/kamisi/index.html>



# 固定資産税率変更を



有元和哉議員

答 阿部 税務課長

問 固定資産税は、均一に税率が定められ徴収されている。しかし、市外に居住

し、空家を放置、または未活用の状態のものについては、現在の本市の人口減少や衰退の状況から考慮すれば、市勢に大きなマイナス要因である。逆に本市に住み、生活をしてる方がプラス要因である。さらに、本市には都市計画による用途地域があり、それに応じた土地利用をしている方は、本市への貢献度は



税務課

極めて高い。納税者の属性、土地利用の属性などの状況に応じ、税率を変動させることはできないか問う。

答 固定資産税は、地方税法第6条第2項の規定により、公益上その他の事由によって必要がある場合に不均一課税をする以外は、負担の均衡上、固定資産全体（土地・家屋・償却資産）について一定の割合により負担を求めめることを原則としている（本市は標準税率の1・4%）。不均一課税は、課税免除するほどの事由はないが、若干の特例措置を講ずる必要があると判断した場合には、それに応じて行うことができるが、ある一部の者に対して、通常の税率より高い税率をもって課税措置することはいふべきでないかと解されている。

# 観光協会の今後について

有元和哉議員

答 中井 産業振興課長

現在、本市の観光協会の完全民間への移行が検討されていると聞くが以下の点について問う。

問 現在までの検討状況はどうなっているか。

答 昨年6月の総会で自立が協議され、検討委員会が設置された。以後3回の協議を経て準備室を開設し、収支計画・事業計画や定款を作成中で、来年4月の移行を目指している。

問 現在の本市としての観光に対する重要度をどのようにとらえているか。

答 本市の振興策の一つが観光である。本市にとって観光推進も不可欠であって、地域振興の一環として観光産



観光協会の取り組みを研修

業を支援していく。

問 観光の推進には巨額の資金と、観光業に精通する者の専門能力が必要となる。今後の観光協会のビジョンは。

答 観光業務の中で、行政がすべき業務を除いて観光協会に任せることができれば、民の知恵が生かされると期待している。観光協会

の自立運営には多くの費用がかかり、安定した収入が必要で、市補助金や指定管理の受託、通信販売サイトの運営などで、収入を確保しなければならぬ。最初は小さくても、将来は本市の観光を担う組織になれるよう支援していく。



# すばらしい取り組み！



山崎晃子議員

答 時久 教育長

大柘中学校の「福祉教育・ボランティア学習」の取り組みに関し、次の点を問う。

問 取り組みの具体的内容と、これまでの成果・課題等を。

答 当校の「福祉教育・ボランティア学習」の特徴は、生徒自らが創意工夫して行う主体的な活動となっていることである。地域の方たちと一緒に防災訓練をしたり、湖水祭りに出店したり、地域との温かいかわりを大切



大柘中学校・授業風景

にしている。今年は、湖水祭りの収益は地域に還元しようと、婦人会の協力も得て「ものべ生きがい教室」で高齢者との交流を行った。「地域に役立ちたい。」と思って活動していた中学生だったが、一連の交流が終わる頃には、地域の人が喜ぶ姿や、中学生歓迎のためにいろいろ準備をしてく

れる元気な姿に、逆に自分たちが励まされるように感じたそうである。

問 同校の取り組みは、地域でのつながりや課題の克服のためにも、次世代を担う子ども達にとっても大変有意義な取り組みと考える。この取り組みを香美市全体に広げてはどうか。

答 大柘中学校の取り組みはどの学校でもできる。ぜひ、子どもたちに主体的なかかわりをさせてあげてほしい。

# どうなる？ 介護・福祉

山崎晃子議員

答 九内 健康介護支援課長

介護・福祉に関して

次の点を問う

問 今年度で終了する第4期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の中間評価の検証は。

答 高齢化の進行に伴う介護給付費の増加や、サービス人材の確保などの基盤の充実に関しては、継続的な課題となっている。

問 日常生活圏域ニーズ調査の結果分析と、第5期計画策定の進捗状況を。

答 これまで2回の策定委員会を開催、計画内容・保険料算定等については、来年1月の策定委員会に提示する。

問 来年度から24時間対応巡回訪問看護・介護が導入されるが、山

間地域に導入できるかどうかの認識と、地域包括ケアシステムの確立について問う。

答 移動時間などの課題が大きく、厳しい状況だと認識している。システムの確立においては、医療機関との連携を強めていくことが大切だと思っている。

問 地域包括支援センターの今後のあり方と展望を。

答 地域の様々な資源を把握・連携させ、高齢者につないでいく中心的役割を担うことが必要である。

問 法改正により、サ

ービス付高齢者住宅の整備が打ち出されたが、対策は。

答 この住宅は、高齢者を入居させ、併せて生活支援サービスを提供する事業者を対象としている。民間事業者の整備を期待したい。

問 第5期介護保険料の見通しを。

答 来年1月の策定委員会ですす予定である。あったかふれあいセンター事業の運営費は、来年度から県と市町村が半額ずつ負担し、機能拡充も図るとしている。本市の対応は。

答 予算要求をする。



あったかふれあいセンター（奥物部ふれあいプラザ）



# 希少植物の保存を



片岡守春議員

答 今田まぢづくり推進課長

土佐山田町楠目地区には、長年にわたり牧野植物園から専門家が入り、調査・研究が進



バイカイカリソウ

められている。

同地区には他地域に見られない数多くの貴重な植物が分布していることが判明しているが、市の認識は。

本県の希少植物については、高知県環境共生課によると「乱獲や盗難を防ぐために、具体的な場所は公表していない」とのことである。この地区についても楠目土地改良区からの説明により初めて

知り得た状況である。なお、県によると、小さなエリアの中で、この地区のように多くの希少植物が見つかる例は少ないとのことである。

同地区には全国的にも貴重な自然生えの「バイカイカリソウ」等が分布しているが、今のままの状態で放置すれば絶滅の恐れがあると危惧されている。専門家の指導を仰ぎ、絶滅させないための方策を検討すべきではないか。

希少植物の保護は、その全てを市で担うことは困難であり、できれば、地域や団体等で見守っていただければと考えている。

このような地域活動に対応する県や市の補助金もあり、活用していただくと共に、市も県と連携し、可能な部分については支援していきたいと考えている。

# 新庁舎駐車場について

片岡守春議員

答 前田 管財課長

新庁舎の駐車場が整備され、11月から供用開始となった。このことに関し次の点を問う。

2名の駐車場係を配置し、来庁者に「出向いた部署の窓口で証明のスタンプをもらい退庁時に駐車場係に手渡すように」との指導をしている。

病院等では、駐車カード等にスタンプを押してもらえば料金が無料または割引になる場合があるが、本市の場合は無料駐車場であり「違和感がある」との声を聞く。

どのような目的で行っているか。また、来庁者への説明は十分か。



新庁舎駐車場

駐車場案内係は、利用の仕方を案内するために配置している。自動車のお客様には、新駐車場は緑化プロック部分が多いので駐車スペース区分を、自転車やバイクのお客様には、県道側のアプローチにある駐輪場を、また、市役所に御用のない方の駐車はご遠慮いただくよう、案内している。駐車券は集計したのみで、十分に分析

できていないが、11月は2317台の利用があった。62%が1階、13%が2階、12%が3階、10%が4階、2%が5階、1%が北庁舎のお客様であった。低い階ほどお客様が多いことから、現在の課等の配置は適正であると分析している。

この方法をいつまで続けるのか。

駐車場案内係の配置は年内限りである。



# 防災対策の充実を



比与森光俊議員

答 今田 まちづくり推進課長

**問** 東日本大震災以降静岡県西部危機管理局が、一昨年効果的に避難所運営を学ぶ方法として開発した図上型防災訓練「HUG」が、注目を集めている。東京消防庁では、積極的な活用を市町村に呼びかけている。

本市での自主防災組織連絡協議会や避難所単位での活用を望む。「HUG」に対する見解と今後の対応を問う。

**答** 「HUG」については、避難所開設時における様々なケースをゲーム方式で疑似体験

でき、運営方法を自然に学べるといった点では通常のマニュアルを使った学習よりは、効果が高いのではないかと思う。訓練を進めるには、専門的な知識も

必要と思われるが、指導者の確保が出来れば、自主防災組織連絡協議会等で研修することにより、地域の自主的な訓練方法として普及するのではないかと考えている。

**問** 土砂災害防止法に基づき都道府県が、土砂災害の危険場所を警戒区域に指定すると、市町村は避難場所などを住民に周知するためハザードマップを作成し公表することが義務付けられている。

本市は、警戒区域の指定を受けているが、ハザードマップ作成などの対応は万全か問う。

**答** 土砂災害危険区域については、本年9月30日に繁藤地区で7箇所が指定されている。ハザードマップの作成については、区域の指定と並行して作成することが望ましいが、作業が遅れている。まずは、広報やホームページで早急に住民への周知を図りたい。



台風15号による土砂崩れ(別役)

## 急がれる体育施設整備

比与森光俊議員

答 田島 生涯学習振興課長

**問** 土佐山田武道館の老朽化は、著しいものがある。武道館は、中学校の授業やクラブ活動、スポーツ少年団・体育会などが使用して

いる。体育館と違い素足で競技を行うことから、床板の改修は急務である。対応を問う。



土佐山田武道館

**答** 土佐山田武道館は、昭和55年に建設され30年以上が経過している。本年度は耐震診断を委託している。改修については、その結果も踏まえて予算要求をする考えである。

**問** 大宮小学校グラウンドでは、スポーツ少年団香北陸上クラブが、

砂場を利用し走り幅跳びの夜間練習に励んでいる。昨年設置された太陽光パネルの設置に伴い砂場が移設され、夜間照明用の電源確保に苦慮している。対応を問う。

**答** 照明については、現在、電源の確保、また近隣の電柱等を利用した照明灯の設置を検討している状況であり、来年度の予算要求を行うよう考えている。



# 防犯等のLED化



利根健二議員

答 今田まぢづくり推進課長

問 防犯灯台帳作成の進捗状況を問う。また台帳に載った防犯灯は全て認定防犯灯として

認定されたと理解してよいのか問う。

答 11月末現在で、地区については、93・1%、灯数では、95・9%が完了している。台帳に載った防犯灯は全て認定防犯灯である。

問 LED化の手順の認識が各自治会によってバラバラである。対応を問う。

答 LEDへの切り替えと修繕は、次年度からの補助を予定してお

り、予算が成立し要綱が制定される来年3月には、手順や方法などを詳しく説明した資料を送付したい。

問 公衆街路灯Aの料金区分が変更となった。要綱の変更により一層の節約が出来るかと考えるがどうか。また防犯灯を早くLEDに切り替えるほど、財政的に有利であるし、エコである。目標灯数を前倒ししてはどうか問う。

答 基本的には10%以下のLED灯への取り替えを勧めていくが、照度が不足する箇所も出てくるのが想定される。暫く様子を見たい。

問 上で検討していきたい。またLED灯への早期の切り替えについては、市の財政的な負担も考慮し、10年を目途に交換していきたい。

問 街路灯の中で、補助対象の防犯灯への切り替え作業が終わっていない所がある。

要綱上の期限は過ぎ

商店街・街路灯

ているが、認定防犯灯としての申請が出された時は認めるべきである。対応を問う。

問 何らかの理由により、申請が漏れている箇所も出てくるのが想定される。そういった箇所は追加認定していく。

## 情報提供の充実

利根健二議員

答 濱田政策企画財政課長  
答 山崎 総務課長

問 本年度にリニューアルされる予定であるホームページの進捗状況を問う。

答 予定を大幅に変更して、平成25年3月の完成を目指している。現在は総務課のワーキンググループ内で、リニューアルの基本検討を重ねている。



「香美市の補助金」冊子

問 その時、ホームページの「内容の更新・追加」の頻度もっと上げる方法を考えるべきと思うが見解を問う。

答 すでに現在のホームページの掲載情報の検証を行い内容の充実に努めているが、リニューアル後のホームページの内容の更新・追加の頻度についても基本検討事項の一つとしている。

問 個人や地域組織等が活用できる「香美市の補助金」の冊子を来年度以降も継続して欲しい。予定を問う。

答 「香美市の補助金」ガイドブックは今後も引き続き作成する。

問 補助金情報をホームページのトップページにリンクさせ、市民に広くお知らせしたらい。見解を問う。

答 リニューアルするホームページについては、閲覧者が必要とする情報をいかに分かりやすく提供するか、閲覧者の視点に立ってサイト設計等をする予定である。どのような情報をリンクさせていくかということも、十分に検討していきたい。



# 香美市は宝の山



山崎眞幹議員

答 田島 生涯学習振興課長

問 本市は沢山の宝に恵まれていること、それらを活かすことが賑わいをもたらし、税収

増にも繋がることは、これまでも述べてきたが、その特産品のひとつとして忘れてならないものに漫画があると考える。

そこで、漫画文化を本市の特産品と位置付け、活用する手始めとして「第40回日本漫画家協会大賞」を受賞した、くさか里樹先生の「ヘルプマン」を図書館等で、コーナーを設けて見られるようにす



くさか里樹さんのスタッフ

ればと考えるが、見解を問う。

答 図書館ロビーの新聞や雑誌、漫画本を閲覧しているコーナーにスペースがあるので、今後「図書館協議会」において設置するか検討していきたい。

## すこやか子育てプラン

山崎眞幹議員

答 後藤教育次長兼教育振興課長

問 「香美市すこやかな子育てプラン・実施計画」は「保育所を子育て支援の中核施設と位置付け、夢と希望にあふれる若者が定住し、安心と喜びを持って子育てにあたることのできるよう」と、平成18年に策定され本年度が最終年度となっている。

予定されていた保育サービスはほぼ実施さ

れているが、片地保育所と新改保育所での0歳児保育と、11時間保育については、来年度の募集においても予定されていない。

答 プラン策定において各保育所が行うサービス内容として、0歳児保育と11時間保育があり、実施に向けて努力してきたが、保育士確保に見通しがたたず見送りとなった。今後できるだけ早い時期に実施できるよう努力する。



土俵打刃物 タンちゃん  
すこやかたかし



すこやかな成長を!!

## 本会議をライブで中継しています。 次回は、2月29日開会の予定です。

なお、予定変更になる場合がありますので注意してください。

問い合わせ 香美市議会事務局 0887-53-1093



# 林業の振興計画



石川彰宏議員

答 中井産業振興課長

**問** 平成19年度から平成23年度までの林業の振興計画では、作業道の開設・団地化による間伐推進・高性能林業機械の導入・木質バイオマス利用・後継者確保等に取り組み成果も上がってきているが、平成24年度以後はどのような計画になるか。

**答** 平成24年度以降も作業道等の路網整備・高性能林業機械の導入による生産性の向上及び生産コストの低減に

よる森林組合などの経営基盤の強化、森林施業の集約化の推進等により林業の活性化や雇用の創出を図っていく。

**問** 大豊町に大手集材メーカー「銘建工業」が進出してくる。県内の間伐材だけではまかないきれず、皆伐も必

要になる。大豊町に隣接し杉の蓄積の多い本市も皆伐が進むと思われる。循環型林業を目指すとするば再造林も必要となってくる。どのように取り組むか。

**答** 皆伐については、人工林の場所には2年以内に植林するよう「香美市森林整備計画」で定めている。国・県の保育施業の有利な補助金を活用して植栽するよう、森林組合等の

協力を得て、森林所有者に声がけしていく。

**問** 森林プランナーの育成も大事と思うが考えを問う。

**答** 森林施業プランナーは、森林組合が国の制度を利用して育成し、香美森林組合で7人、物部森林組合で1人が在籍している。来年度も国・県は、直接林業事業体に助成する、育成の予算を組んでいくようなので、育成は進んでいくと考えている。



ストックヤード（物部町）

# 廃屋の撤去について

石川彰宏議員

答 舟谷香北支所地域振興課長

**問** 林道谷相線の松尾峠の超短波無線中継所跡に廃屋になった建物がある。鉄塔部分は撤去され建物だけが残っている。閉鎖された時点においてはフェンス

で囲われ鍵もかかってきたように思われる。歲月とともに傷み外壁は落ち鉄製階段は錆び、いつ落下してもおかしくない状態である。所有者に解体撤去を申し入れることはできないか問う。

**答** その廃屋は、現在、民間会社の所有物になっている。問い合わせの結果、解体撤去の計画は無いが、林道から廃屋の上がり口付近に、注意喚起の立て看板を設置するとのことである。



松尾無線中継所跡



# 租税債権管理機構 設置反対



山崎龍太郎議員

## 答 岡本 収納課長

南国・香南・香美3市で一部事務組合・租税債権管理機構の設置が検討されている。以下について問う。

問 全国各地では人権無視、生存権を脅かす事例等が相次いでいる。設置に向けて会議等での検討は。

答 法の範囲内での業務となると考えている。

問 収納課における債権回収のノウハウ等から機構に依存しなくても独自で可能と考える見解を。

答 本市収納課も滞納整理ノウハウはあり、精一杯やっているが、滞納繰越額は年々増加している。滞納整理の専門チームによって効率よく滞納整理を行い、早急な滞納繰越額の削減を目指している。

問 機構への移管での徴収増の想定と、自主財源の確保に繋がるか。

答 これまでの滞納繰越で年間収納額の1.5倍を期待している。

問 分納誓約履行中、中断中の案件の移管について問う。

答 原則、分納誓約を履行されていないものの中から案件移管とすると考えている。

問 私債権（住宅新築資金貸付金等）の返済の絡みからくる租税債権の取り扱いは。

答 私債権との重複滞



収納課

納者については、移管について精査をする必要があると考えている。

問 事業所等を潰しかねない懸念がある。移管に際しての精査は。

答 移管案件は、高額、長期滞納、悪質などから選定される。

問 機構設置に多額の経費を投資するのであれば新規職員雇用を行い職員育成を図るべきである。見解を。

答 派遣職員は機構で実務により高度な専門ノウハウを養い、本市

に帰り、その後の滞納整理に活かせると考えている。

## 答 門脇市長

問 今回の機構設置にあたっては税負担の公平性の原則に立った考案の下で、いま課題となっている滞納問題に対応するため、3市の首長間で合意して進めている。

答 徴収方法は現在本市の収納課で整理、対応できにくいものに対して、法の範囲内での徴収を行うものであり、更にもう一歩進んだ対応もしていきたい。

# 遊休地の 管理・売却は

山崎龍太郎議員

## 答 前田 管財課長

問 遊休地の活用は売却、賃貸等、積極的に



売却予定の旧農機具倉庫用地（宝町）

行っていく方向だが、普通財産が増加傾向にある中、スピード感のある対応が求められる。現在の取り組みと今後の計画を問う。

併せて、市民への無償貸付について見解を問う。

問 現在、売却を準備している物件は1件のみである。今後の計画は、白紙である。普通財産の95%は山林であるが、残りの5%は宅地・雑種地等であるので、売却を進めるに当たっては、スピード感を

を感じていただけるよう、努力したい。

普通財産の貸付といえども、地方公共団体の場合は、私人対私人のように自由に賃貸契約を結ぶことはできない。社会及び公共の福祉を前提に判断しなければならぬ。個々の市民への貸付は、具体的な申請があった時点で、内容を検討して可否を決定する。貸付は原則有償である。無償の場合には、議会の議決を得なければならぬ。



# 健康増進の 取り組みは



濱田百合子議員

答 九内健康介護支援課長

本市は、平成21年度から5カ年計画で「健康増進計画」を策定している。健康増進の取り組みについて問う。

問 本年度は、県の補助制度をどのように利用したか。

答 本年度は訪問事業を行い、受診勧奨するとともに特定健診受診券を配布した。

問 がん検診の受診勧奨の方法は。

答 本年は、希望調査の未返送者に再度調査

票を送付した。また、未受診者の検診日を設けて受診機会の増加を図っている。

問 平成19年度からの医療費の推移とその結果をどう考えるか。

答 国保・後期の医療費の推移は、増加傾向にあり、高額療養費などの給付が増えた。

問 働き盛り世代への取り組みは。

答 例年11月の日曜日に、特定健診と各種がん検診をセットにした日を設けている。

問 全国的に自殺者が多い中、うつ病など精神疾患を持つ方々への支援は。

答 電話・訪問により、相談を受けている。来年度は、自殺予防のパンフレットを作成し、啓発を予定している。

問 メンタルヘルスの

学習会や傾聴ボランティア講座を企画し、民生・児童委員や社会福祉協議会職員、市職員の研修をしては。

答 地域の理解が大切であり、学習会の開催を検討していく。

問 地域には、健康づくり推進員、健康づく

り婦人会、食生活改善推進員がいる。健康づくりのため、今以上に活かされるべきでは。

答 受診勧奨や健康づくり活動に、自分たちが何ができるかなどを話し合う場をもち、活動の幅を広げてもらうようにしていきたい。



健康まつり・ウォーキング

## 児童クラブ施設の耐震は

濱田百合子議員

答 後藤教育次長兼教育振興課長

問 本市には8カ所の児童クラブがある。香

長市農村コミュニティセンター、めだか・くじら市元山田保育園、

たけのこ市宝町集会所、うぐいす市楠目小の校庭に独立しており、片



児童クラブ (旧・山田保育所)

地市多目的集会所、大宮市元老人憩いの家、もんべえは、開発センター物部に設置されている。老朽化している施設もあるが、耐震診断と今後の耐震対策を問う。

答 児童クラブは8カ所中、1専用施設を除き、7カ所で集会所等の施設を利用して耐震診断は行っていない。今後の耐震対策は施設の管理者と協議・検討が必要と考える。



# 学校教育の取り組み



織田秀幸議員

## 答 時久 教育長

問 本市には、大・小規模合わせて9校の小学校がある。その内6校が鏡野中学校区となるが、入学と同時に学習や生活の変化に

はじめず、不登校やいじめが急増する。このような現象を中一ギャップと言っている。本市の現状及び対応を問う。  
答 本市においても中一ギャップの現象は見られる。そのため、市全体として、中学校区連絡会、人間関係づく

りについての教職員研修、保幼小中合同研修会を行っている。特に、鏡野中学校区では、本年度から2年間「高知県不登校・いじめ対策小中連携事業」を受け、Q・Uアンケートを活用した学級づくり、中学校1年生の仲間づくり合宿、小学校6年生同士の連携を深める仲間づくりの活動などを行っている。

問 平成11年8月に「国旗及び国歌に関する法律」が成立した。同法は「国旗は日章旗とする」「国歌は君が代とする」との2条からなっている。公明党は、憲法の「思想及び良心の自由」の規定から、一貫して国旗や国歌を敬う心情は、国民各個人の良心の領域の問題であるとの観点に立っているが、本市では学校での教育活動の中で、国旗・国歌に対する教育はどのように行っているのか問う。



成人式

答 国旗、国歌については、学習指導要領において、小学校3～6年生の社会科、全学年の音楽、特別活動で、中学校では社会科の公民的分野、全学年の特別活動で指導するように示されている。各学校においては、学習指導要領に基づいて指導している。

## 総合案内 受付業務

織田秀幸議員

## 答 山崎 総務課長

問 旧庁舎時代から、総合案内受付業務は課長はじめ正職員が交代で従事していた。念願の新庁舎が落成して早半年が過ぎたが、従来同様のパターンで業務に就いている。総合案内受付は本市の顔でもあるし、第一印象は特に重要である。適材適

所の人員配置や人件費コスト面からも、理に適っているとは思えないが、経緯と今後の対応を問う。  
答 総合案内は、合併前の旧土佐山田町の時から、分散していた庁舎への案内などを行うために設置していた。新庁舎に移転し、ほとんどの課等が本庁舎に集約され、利便性は向上したが、4月から組織再編に伴い、課等の名称が変更したため、来庁者への業務案内のために、継続して

総合案内を設置することとしたものである。総合案内も香美市庁舎総合案内窓口設置規程を設け、業務の一つとして位置付けているため、管理職も含めての配置としている。職員であれば、どの部署においても他課への適切な案内や、業務上の連携は生じるため、全職員がすべき業務であると考えている。職員の接遇研修を継続して行い、今後はこちらを努めていきたい。



新庁舎・総合案内受付



# 教育予算の増額で 底上げを



大岸眞弓議員

答 時久 教育長

答 徳藤 教育次長兼教育振興課長

家庭の経済状況悪

化とともに心配な子ど

もたちが増えている。

そうした子どもたちに

集中的なケアが必要だ。

以下の点を問う。

問 子どもたちを取り

巻く状況への認識は。

答 本市でも家庭状況

の不安定さが、子ども

の心身の不安定さにつ

ながっている事例はあ

る。子どもの問題行動、

学習意欲の欠如、生活

リズムの乱れなど、か



鏡野中学校

かわっていくと、背景

にある深刻な家庭状況

に唾然とさせられるこ

とが多い。事態はとて

も深刻である。

問 就学援助制度の算

定基準や給付水準の引

き上げ検討を。

答 就学援助を必要と

する者に適切な支援が

行われるよう、算定基

準や給付水準の見直し

の検討が必要と考える。

問 義務教育にかかる  
私費負担軽減を。  
答 今後、負担状況な  
どを把握し、保護者負  
担の軽減について検討  
していきたい。

問 鏡野中学校での朝  
食の復活検討を。

答 学校での朝食提供  
は効果が大きいと思う。  
一つは朝食で元気が出  
ること、もう一つは朝  
食を通して生徒との和  
やかな触れ合いの時間  
がもてることである。  
復活については、鏡野  
中学校と相談する。

# 支所庁舎の 耐震対策は

大岸眞弓議員

答 濱田 政策企画財政課長

答 二宮 香北支所長

答 岡本 物部支所長

香北・物部支所庁舎

の耐震対策の説明を受

けて以下の点を問う。

問 地域審議会の要望

により香北支所庁舎の

建設を検討していると

のことだが、そこに至

った経過の説明を。

答 香北地域審議会は

新庁舎建設の意見集約

を行った。市としては

耐震改修の方向で回答

するも、合併後の地域

シンボルとなる新庁舎

建設が再度求められ、

地域審議会の意思を尊

重する方向となった。

問 香北町の方々の合

意を得ているか。

答 地域審議会に市の



香北支所

今後、自治会長会で報

告の予定だ。

問 本市の街づくりに

どう生かされるか。

答 香美市振興計画後

期基本計画へ位置付け

る。

問 どの程度の規模を

想定しているか。職員

数は維持可能か。

答 規模は現行職員数

を前提としたが、一般

論として設計段階の

状況が反映される。

問 合併特例債を充て

るとしているが、返済

計画は。他の事業の償

還払いの時期、一本算

定になる時期との兼ね

合いは。

答 全体の財政運営を

勘案し判断する。

の機能や学童クラブ併

設などの予定は。

答 予定はないが基幹

集落センターの耐震診

断を行い必要な補強等

を実施する。

問 物部支所庁舎は今

後どのような展開にな

るか。物部町の方々の

意向は。

答 平成24年度に耐震

診断を実施し、結果を

見て今後の協議とする。

地域審議会において、

意見統一がされている。

問 物部町の災害時の

備えとして、福祉避難

所や学童クラブの専用

スペースは。

答 福祉避難所は関係

機関と連携し対応する。

学童クラブの専用スベ